安全・安心なまちづくり

新たな浸水想定に基づく水害ハザードマップを作成します

予算額　９，６０３　千円

目的・概要

新たな浸水想定に基づき、水害ハザードマップを作成します。

内容

東京都において、想定し得る最大規模の降雨による洪水・内水はん濫に係る浸水想定区域の見直し検討が進められています。

この見直しを受けて、新たな浸水想定に基づいたハザードマップを作成し、区民に周知します。

目黒区水害ハザードマップ

担当所管

■　危機管理室　防災課　直通電話　03-5723-8488

内線番号（ 6223 ）

安全・安心なまちづくり

地域避難所の備蓄資材を充実します

予算額　１３，９１３　千円

目的・概要

地域避難所における発電機の交換整備及び熱中症予防対策として試行で扇風機を整備します。

内容

１　発電機の交換

地域避難所 38 箇所に配備している発電機の経年化に伴い、３ヵ年計画で交換整備します。

２　扇風機の整備

避難所での室温上昇を抑える大型扇風機及びミスト扇風機を試行で避難所１箇所相当分を整備して、今後の活用について検証します。

担当所管

■　危機管理室　防災課　直通電話 03-5723-8488
内線番号（ 6221 ）

安全・安心なまちづくり

下水道マンホールを活用した災害用トイレを整備します

予算額　５，５０８　千円

目的・概要

災害時におけるトイレの充実

内容

災害時におけるトイレの充実を図るため、避難所周辺道路に設置してある耐震化された下水道マンホールを活用した災害用トイレを整備します。今後３年間で 50 カ所を整備する予定です。

担当所管

■　危機管理室　防災課　直通電話　03-5723-8488
内線番号（ 6223 ）

安全・安心なまちづくり

地域の防災リーダーを育成します（防災士資格取得支援）

予算額　４，２９３　千円

目的・概要

地域の防災リーダーを育成するため、平成２４年度から実施している区民の防災士資格取得助成制度を拡充します。また、災害発生時の初動体制を強化するため、区職員の防災士資格取得を促進していきます。

内容

１　区民の防災士資格取得助成制度の拡充

本区では、防災士資格を有する地域防災リーダーを育成するため、防災区民組織等からの推薦がある方に防災士研修講座受講料及び資格取得試験受験料を助成しています。平成２８年度から、これまで本人負担となっていた資格認証登録手数料や普通救命講習テキスト代についても助成対象としたところです。今年度も同様に防災士資格取得の支援を行っていきます。

２　区職員の防災士資格取得の促進

災害に関する知識や応急対応に対する意識の向上を図り、発災時の初動体制を強化するため、夜間・休日等も震度５弱以上の地震で地域避難所などに参集する第１非常配備態勢要員や、庁外施設で初動対応に従事する職員などを対象とした防災士養成講座を開催し、５０人の防災士資格取得を促進していきます。

避難所運営訓練の様子

◆防災士とは

特定非営利活動法人日本防災士機構が認証する資格で、防災に関する相当程度の専門知識を持ち、地域や職場等で防災リーダーになり得る多数の人材を養成することにより、自助・共助による地域防災活動の推進を目的としています。

担当所管

■　危機管理室　防災課　直通電話　03-5723-8700

内線番号（ 6211 ）

安全・安心なまちづくり

避難所運営協議会の活動支援を行います

予算額　６６０　千円

目的・概要

避難所運営協議会の運営に係る会議・訓練費等の費用に対し助成を行うことにより、同協議会の活発な活動を支援するものです。

内容

目黒区地域防災計画では、災害時に地域避難所等の運営を行う地域住民、施設管理者、行政等で構成する避難所運営協議会の組織化推進について定めています。避難所運営協議会では、災害時に避難所の円滑な運営ができるよう、平常時から会議・訓練等の活動を定期的に行っています。この避難所運営協議会の円滑な運営に資するため、運営費用の一部を助成します。

担当所管

■　危機管理室　防災課　直通電話　03-5723-8488
内線番号（ 6223 ）

災害時の要配慮者支援の装備を配備し、訓練を実施します

予算額　６，０７８　千円

目的・概要

災害時に要配慮者に対し実効性ある避難支援及び避難生活支援がなされるよう、必要な事前対策を行います。

内容

救助活動で生死を分けるのは発災後３日間と言われています。区の要配慮者支援対策では、３日間にできるだけ多くの要配慮者の安否確認を行う必要があることから、組織的に地域避難所を拠点とした安否確認を行うこととしています。

民生・児童委員や介護事業者、地域住民等により構成されたチーム（支援者）が避難行動要支援者名簿を活用して安全に安否確認や避難支援を行うため、活動に最低限必要な装備（ヘルメットやビブス（ベスト状のもの）、ヘッドライト、防水ライト、軍手など）を 28 年度と 29 年度の２か年で各地域避難所に整備します。

また、防災訓練開催時、要配慮者の安否確認・避難支援訓練も実施します。

このほか、避難行動要支援者名簿を更新するため、未登録者への勧奨文書送付や人工呼吸器使用者のための非常用発電機の購入も行います。

安否確認訓練の様子

担当所管

■　健康福祉部　健康福祉計画課　直通電話　03-5722-9689
　　要配慮者支援係　　内線番号（ 2805 ）

安全・安心なまちづくり

緊急医療救護所の資機材を計画的に整備します

予算額　４，４６０　千円

目的・概要

災害発生時に設置することとなる緊急医療救護所の立ち上げに必要となる資機材を計画的に整備していきます。

内容

発災後、区は速やかに、多数の負傷者の発生に迅速に対応するため、区内病院の敷地内又はその近接地及び休日診療所に緊急医療救護所を設置し、トリアージ（負傷者の重症度や緊急度に応じて、治療や搬送の優先順位を決めること）、軽傷者に対する応急処置及び重症者の搬送調整を行います。

その緊急医療救護所を設置するためには、テントを始めとする資機材が必要となるため、これを計画的に整備していきます。

救護所訓練の様子

担当所管

■　健康推進部　健康推進課　健康づくり係　直通電話　03-5722-9586
内線番号（ 2831 ）

安全・安心なまちづくり

自由が丘駅のホームドア整備経費の一部を補助します

予算額　１３３，３３０　千円

目的・概要

乗降客 10 万人以上の駅において、ホームにおける転落や車両との接触事故防止のため、ホームドアの整備を支援します。

内容

高齢者や障害者等が安心して利用できる公共交通機関の整備として、自由が丘駅ホームにおける転落や車両との接触事故の防止を目的に、ホームドアを整備する経費の一部を鉄道事業者へ補助します。

担当所管

■　都市整備部　都市計画課　都市計画係　直通電話　03-5722-9725
内線番号（ 2913 ）

安全・安心なまちづくり

高齢者世帯に自動通話録音機を無償で貸与します

予算額　７２９　千円

目的・概要

振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺や電話を使用した犯罪が後を絶ちません。
自動通話録音機を電話に取り付けることで、呼び出し音が鳴る前に「この電話は、振り込め詐欺被害防止のため、自動録音されます。」とメッセージが流れることから、振り込め詐欺や電話を使用した犯罪を未然に防止することができます。

内容

東京都の自動通話録音機設置促進補助金制度を活用し、区内の６５歳以上の高齢者居住世帯に１００台無償で貸与するものです。

※　東京都の補助率
　購入経費の１／２以内で、上限額が４，０００円／１台

担当所管
■　危機管理室　生活安全課　生活安全係　直通電話　03-5722-9667
内線番号（ 2161 ）

安全・安心なまちづくり

区立公園に防犯カメラを設置します（東山公園、清水池公園）

予算額　１，５２２　千円

目的・概要

公園を安全、安心に利用していただけるように防犯カメラを設置します。

内容

公園を安全、安心に利用していただけるように、犯罪の抑止効果が見込まれる防犯カメラを東山公園と清水池公園に設置します。

防犯カメラ（イメージ）

清水池公園

担当所管

■　都市整備部　みどりと公園課　公園管理係　直通電話　03-5722-9741
内線番号（ 3231 ）